

令和3年度 まちかどミーティング町内会からの要望事項

音羽町・木場町地区

要望番号	要望事項	取組状況等	反映区分	担当部課
1	<p>【信号機に青矢表示、設置のお願い（継続）】 音羽町町内会</p> <p>緑町2条線から36号線（中野跨線橋）右折時に（青の矢印）必要です。 昨年も要望いたしました但し国道236号線緑跨線橋完成（昨年12月）後に交通状況等を勘案しておられることと思っております、</p> <p>①現状は右折車の渋滞ですが特に通勤時間帯（12台程度）です。 ②交通事故が多発しております。 ③人身傷害事故になったら大変です。</p> <p>以上、国道（開発局&公安委員会）等のお手配をお願いいたします。</p>	<p>継続して御要望頂いております当該交差点の右折矢印の設置につきましては、苫小牧中央インターチェンジ開通後の昨年12月に当該交差点の交通量調査を実施いたしました。</p> <p>結果としては、7時から9時までの通勤時間帯では、御要望の箇所の緑町2条線から国道36号への右折車両数は約150台、それに対しまして国道36号側の交差点については約5倍の交通量がございました。</p> <p>その結果を踏まえ、道路管理者である北海道開発局と公安委員会の窓口となる苫小牧警察署と協議を実施した結果「国道36号の円滑な通行を維持するには、現状の信号機の設置環境が望ましい」との回答がございましたので、御理解をお願いいたします。</p>	C	市民生活部 市民生活課
2	<p>【市道の改修について】 双葉町町内会</p> <p>道路総延長1040km、舗装延長900kmを有する市道を良好に維持管理するには計画的に改修工事をされているものと承知しております。近年、当双葉町においても双葉6丁目線、通学路である双葉11号線など整備され、交通安全上も充分配慮された舗装工事と認識しております。</p> <p>一方で、和光中学校西側の双葉町4丁目線や双葉町1丁目線は道路の凹凸が見られ、走行中に車両がバウンドするなど安全走行に不安が生じております。</p> <p>今後の改修計画はどのようなになっているかお聞きしたい。</p>	<p>双葉町地区の市道につきましては、昨年度、双葉6丁目線や双葉4丁目線歩道など、合わせて約650mの改修を行いました。今年度も、双葉4丁目線歩道を、約500mの改修工事を予定しております。</p> <p>改修計画は、路面の損傷状況や交通量・通学路などを考慮し計画しており、御要望の、双葉町4丁目線や双葉町1号線につきましては、今後も、現地調査を行い町内会のご意見も伺いながら、少しでもご希望にお応えできるよう、取り組んでまいります。</p> <p>また、改修までの間は、通行に支障がないよう適宜補修等を行ってまいります。</p>	B	都市建設部 維持課

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
3	<p>【広報配布手数料の見直しについて】 双葉町町内会</p> <p>当町内会は、広報とまこまいの配布を市からの委託を選択し現在に至っております。一昨年、区長・班長に対し現行を維持するか業者委託に移行するかのアンケートを実施したところ、班長の高齢化、担い手不足等で賛否が拮抗しました。町内会としては、町内会行事や事業の周知のための回覧板やチラシの全戸配布を広報配布に合わせて行っており、何よりも希薄になってきた隣人関係、向こう三軒両隣の共助の精神の醸成が必要と考え、更には町内会加入率の低下（50%強）による財源確保の観点から、現行の町内会配布を選択しました。</p> <p>一方で、現行を維持するため町内会として、ボランティアによる配布代行員を募り、区長班長の業務軽減を図る手立てを講じております。</p> <p>そこで、現在の委託料である1世帯当たり136円を業者委託並み250円と申しませんが、せめて業者委託単価の8割程度に値上げしていただければと思います。</p>	<p>「広報とまこまい」の配布業務の委託料につきましては、令和2年度から全戸民間委託とする考え方を示させていただいておりましたが、令和元年6月5日付け苫小牧市町内会連合会からの「住民組織活動の推進に関する要望書」を受け、令和2年度以降につきましても選択制による町内会配布業務を継続させていただくこととし、委託料につきましては、各町内会の厳しい運営状況をご理解しておりますが、これまで通りの委託単価を踏襲することへのご理解をお願いしているところでございます。今後、徐々に町内会配布地域が減少していくことが予想されることもあり、広報紙の配布方法も含め、継続して検討して参りたいと考えております。</p>	C	総合政策部 秘書広報課

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
4	<p>【福祉ふれあいセンターの利用について】 双葉町町内会</p> <p>福祉ふれあいセンターは、様々な障がいをお持ちの方々の福祉の増進及び社会参加の促進を図る目的で設置されたことは承知しております。</p> <p>また利用される方は障がいをお持ちの方、その方々たち等で構成される団体等であることも承知しております。</p> <p>現時点では、町内会の事業における健康増進等レクリエーションでの使用は不可となっております。</p> <p>今後、通常の施設利用者が使用しない日であるとか、閑散期、土日等通常利用者さんが使用しないときは、町内会行事での利用は困難かお聞きしたいと思っております。</p>	<p>おっしゃるとおり、福祉ふれあいセンターは、様々な障がいをお持ちの方々の福祉の増進及び社会参加の促進を図る目的で設置されたものとなっております。</p> <p>現在、直前の利用ニーズが一定数生じていることや、施設の設置目的として、障がいをお持ちの方が利用できる機会を優先して考慮する必要があることから、町内会単独の行事としての利用は難しいですが、利用者との交流や障がいの理解促進のための行事の参加などの利用は可能と考えております。</p> <p>今後、新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、地域の皆さんにも参加していただける行事などについて指定管理者と考えてまいります。</p>	B	福祉部 障がい福祉課

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
5	<p>【熊・鹿の市街地への出没について】 住吉泉町内会</p> <p>(1)熊の出没 例年になく熊の目撃件数が多く、市外にへの出没が増えています。 札幌での熊の出没と人がクマに襲われる映像はショッキングなものでした。 苫小牧でも市街地での熊の目撃情報もあり、いつ同じことが市内で起きるのか心配になっています。北海道として緊急な対策が取られると思いますが、道・苫小牧市の対策をお知らせいただいで安心材料にしたい。</p> <p>(2)鹿の出没 鹿も同じく冬季から春にかけて町内でも見かけることも慣れてきましたが、小学校の校庭に鹿の群れということもありました。事故啓発の看板は多く見かけるようになりましたが、こちらも道・苫小牧市の対策をお知らせいただいで安心材料にしたい。</p>	<p>(1) ヒグマの対策につきましては、今年度、特に多く目撃された国道276号線沿いのサイクリングロードで注意喚起のビラ配りや看板を増設したほか、ヒグマを誘引しないように、霊園でもお供え物の持ち帰りについて、注意喚起のビラ配りや看板を増設を行っております。また、ヒグマの目撃が多い場所を中心にヒグマ防除隊（猟友会）で予察パトロールを行い、侵入警戒と追い払い等の防除対策を行っております。 北海道では、道内のヒグマの人身事故多発を受け、ヒグマ対策緊急会議を開催し、改めてヒグマ出没時の対応についての確認等が行われております。 万一、苫小牧市の市街地にヒグマが出没してしまった場合には、関係部署や、北海道、警察、ひぐま防除隊（猟友会）等の関係機関と連携をとり、状況に応じた対応を行うこととなります。また、ヒグマとの不意の遭遇による人身事故を未然に防ぐため、防災スピーカーやSNS（LINE、フェイスブック）、広報車による周知等を、速やかに行ってまいります。</p> <p>(2) エゾシカの対策につきましては、市街地への出没を減らすために生息数を減らしていくことが、必要と考えております。そのため、北海道に対して毎年、エゾシカ捕獲事業の実施を要望し、平成30年度から捕獲事業を継続実施しております。令和3年度についても、苫小牧市での捕獲事業の実施が決定しております。 なお、エゾシカが積極的に人を襲うことはございませんが、不用意に近づいたり、刺激すると急に走り出すなど危険ですので、市街地で見かけても近づかないようにお願いいたします。</p>	B	環境衛生部 環境生活課
6	<p>【草刈り範囲拡大】 住吉泉町内会</p> <p>市の公園・公営住宅の草刈りは年2回実施され、綺麗な公園・公営住宅となっています。きれいな環境を整えていただいで感謝しています。 お願いですが、公園・公営住宅の草刈り時に隣接する歩道・電信柱等の草刈りもお願いできないでしょうか。作業時の安全面・コスト等もあると思いますので、できる範囲でご検討願いたい。</p>	<p>歩道・電信柱周りなどの草刈りにつきましては、歩行者の通行に支障とならないよう、状況を確認しながら行ってまいります。</p>	B	都市建設部 維持課

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
10	<p>【避難所（清水小学校）前の急傾斜地について】 春日清水町内会</p> <p>市のハザードマップによると、避難所指定されている清水小学校の入口前が急傾斜地の崩壊に記されています。この区域は豪雨などによる浸水も顕著にみられる場所であり、いざ町内住民が避難するときに使用する唯一のルート上にある事、また高校生が多数通学で往来する歩道にも面しております。この事から早期の道路・排水を含む改善・改修計画を立て実行していただきたい。</p>	<p>この地域の大雨時の災害リスクとしては「がけ崩れ」が想定されており、道道苫小牧環状線から東高校までつながる「東高校前通線」の南側200mほどの区間が、「がけ崩れ」の影響を受ける土砂災害警戒区域となっております。このため、平成28年度作成の土砂災害ハザードマップでは、土砂災害の危険がある場合には、「東高校前通線」の通行を避け、その西側の道路を通じて清水小学校へ避難いただくようお示ししたところでございます。</p>	B	市民生活部 危機管理室
11	<p>【緑ヶ丘展望台への垂直避難時のルート確認と安全対策】 春日清水町内会</p> <p>春日清水町内会は、どんぐり幼稚園・マーガレット幼稚園・清水小学校・開成中学校・東高校のある地域であるが、前述した急傾斜地の崩壊の危険性から洪水等垂直避難が生じる場合にどのようなルートをとるのか？ その現状ルートは安全なのかを確認していただき、児童の生命に危険がないかを確認したうえで関係機関と調整していただきたい。</p>	<p>土砂災害を対象とした避難については、警戒区域から外れた安全な建物に避難していただきたいと考えており、この地域では清水小学校を指定避難所に指定しております。また、避難していただく場合には、气象台や北海道からの情報に基づき、早めに避難所を開設するよう努めるとともに、町内会へも事前に連絡のうえ、避難者の安全に十分配慮しながら対応してまいります。</p>	B	市民生活部 危機管理室
12	<p>【緑ヶ丘公園内の交通安全対策について】 春日清水町内会</p> <p>道道から金太郎の池までの道路と緑ヶ丘公園内の道路は、平日、朝夕の通勤時間帯に通り抜けの車両が多数で、中にはあきらかに60kmを超える速度で走行する車両もいます。ウォーキング、ジョギング、犬の散歩の人達が危険と遭遇しています。又、土・日曜日には、とましんスタジアム、少年野球場、陸上競技場、サッカー場を利用するため、道路横断者が多数で、事故を心配しております。対策をお願いいたします。</p>	<p>御指摘の道路につきましては、各所に「徐行」の標識を設置しておりますが、樹木の枝葉により見えづらい箇所がございますので、剪定を行ってまいります。また、野球場や陸上競技場の付近など、歩行者の横断がある箇所につきましては、注意を促す看板を設置するなど、事故防止に向けた対策を行ってまいります。</p>	B	都市建設部 緑地公園課